

ハチバングループ 食品リサイクルへの取組み

2018年2月21日

株式会社ハチバン

安全衛生室

栗津宗之

当社の概要

株式会社 ハチバン

【主な事業】

- 飲食店のフランチャイズチェーン事業
- 飲食店の営業
- 食品の製造加工及び販売

【主要施設】

- 本社（営業・管理機能）
- ハチバソフズパーク（本社工場・商品部他）
- セントラルキッチン

営業店舗の業態

2017年12月1日現在

【らーめん業態】

国内

8番らーめん	124店舗
らーめん元八	2店舗

海外

タイ王国	120店舗
香港	8店舗

【和食業態】

八兆屋	4店舗
八兆屋 駅の蔵	3店舗
市の蔵	1店舗
長八	2店舗
野ふうど	2店舗

徳光パーキングエリア（上下）



全澤旬料理



近江野・海鮮市場料理



本社工場の主要製品群

【生麺】

らーめん業態向け生中華麺
業務用生中華麺・量販店向け袋麺

【餃子】

らーめん業態向け冷凍生餃子
量販店向け冷凍生餃子

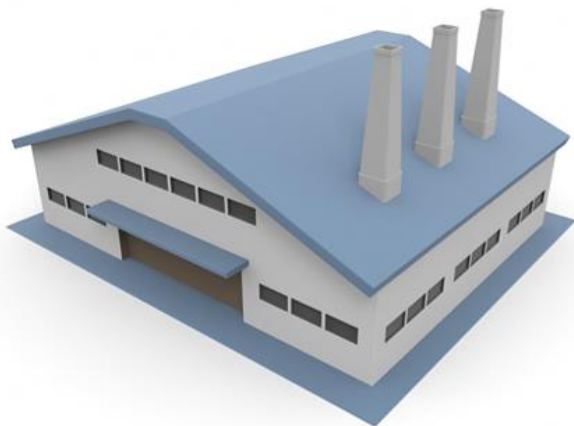
【タレ】

らーめん業態向けらーめんタレ

【野菜】

らーめん業態向けカット野菜・餃子原材料

動植物性残渣に対する当社の取組み



本社工場
生ごみ

セントラル
キッチン
生ごみ



堆肥化

豚の餌



メタン化発酵プラント

食品工場(産業廃棄物)



生ごみ
脱水



廃油



焼却



配合飼料(鶏)

営業店舗 生ごみ(事業系一般廃棄物) 廃油(産業廃棄物)

店舗の生ごみは脱水により軽量

残飯・期限切れ品



脱水ゴミ箱

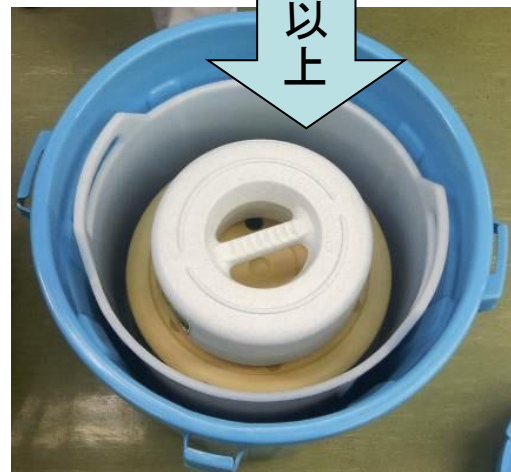
3時間以上

仕込クズ



カットキャベツ導入前
脱水率16%前後

カットキャベツ導入後
脱水率23%前後



落としフタ・重石

8番らーめん辰口店 動植物性残渣調査表

2014年度

売上高 103,334,006 10,333 千円

測定月	発生量	脱水後重量	減量率
4月	242.7	196.8	18.91
5月	222.9	180.3	19.11
6月	227.4	179.9	20.89
7月	222.1	171.0	23.01
8月	289.8	219.2	24.36
9月	256.5	190.3	25.81
10月	274.7	217.3	20.90
11月	242.6	195.2	19.54
12月	285.1	222.4	21.99
1月	282.1	225.7	19.99
2月	235.9	190.3	19.33
3月	196.8	154.3	21.60
年間合計	2,978.60	2,342.70	21.35

原単位発生量(売上高千円当たり)

0.0288 Kg/千円

2015年度

売上高 109,085,117 10,908 千円

測定月	発生量	脱水後重量	減量率
4月	241.1	191.1	20.74
5月	236.4	186.2	21.24
6月	249.5	184.4	26.09
7月	247.0	182.8	25.99
8月	282.9	205.3	27.43
9月	228.8	168.5	26.35
10月	259.8	202.1	22.21
11月	250.8	192.8	23.13
12月	259.8	202.1	22.21
1月	345.0	257.3	25.42
2月	267.9	193.7	27.70
3月	236.7	182.0	23.11
年間合計	3,105.70	2,348.30	24.39

原単位発生量(売上高千円当たり)

0.0285 Kg/千円

八兆屋県庁前店 動植物性残渣調査表

2014年度

売上高 132,513,681 132,513 千円

測定月	発生量	脱水後重量	減量率
4月	628.6	567.7	9.69
5月	528.4	478.0	9.54
6月	630.3	565.3	10.31
7月	569.6	524.3	7.95
8月	724.0	659.7	8.88
9月	575.3	524.5	8.83
10月	566.0	517.0	8.66
11月	785.0	729.4	7.08
12月	652.4	604.7	7.31
1月	576.0	524.1	9.01
2月	520.0	479.0	7.88
3月	585.0	539.0	7.86
年間合計	7,340.60	6,712.70	8.55

原単位発生量(売上高千円当たり)

0.0554 Kg/千円

2015年度

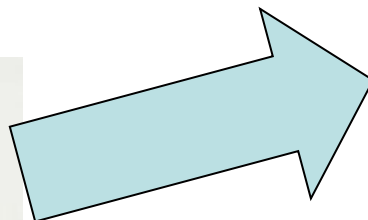
売上高 155,898,449 155,898 千円

測定月	発生量	脱水後重量	減量率
4月	814.2	753.3	8.21
5月	595.3	536.0	9.96
6月	817.9	760.9	7.48
7月	574.1	525.0	9.96
8月	653.7	592.1	6.97
9月	717.9	657.8	8.55
10月	742.3	683.2	9.42
11月	739.1	683.0	8.37
12月	1001.8	937.0	7.96
1月	605.3	549.9	7.59
2月	564.9	518.5	6.47
3月	634.7	571.5	9.15
年間合計	8,461.20	7,768.20	8.19

原単位発生量(売上高千円当たり)

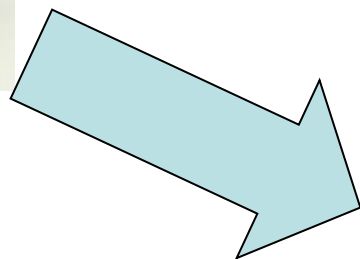
0.0543 Kg/千円

カットキャベツ導入による 店舗生ごみ削減と脱水率向上



北半球

南半球



課題

工場に野菜屑が集中し、処理費増大

本社工場生ごみ今後の課題



圧搾後のキャベツ残渣を機械に投入すると乾燥されて出てきます。

処理能力は、1,000kg/h(最大)

乾燥前の水分90%→乾燥後8%~13%

キャベツ処理においては、若干の独特な臭い(野菜を乾燥する臭い)が有る程度でした。

キャベツの投入方法、機器の管理(温度・速度など)調整が必要な状態です。

今回、キャベツ76.05kg投入し、9.88kgの乾燥飼料ができました。

当社のキャベツ屑を乾燥したものが、通常の配合飼料と飼料用米と混ぜられ、豚の飼育に使われます。

乾燥後のキャベツは、1kg=5円~10円で購入いただける算段ですが、まだ未定です。

乾燥には、LPガスを使用します。キャベツ屑1,000kgあたり4,000~5,000円のガス代が必要
(1kgあたり4円~5円)

現在は、水島物産総合商社で1kg=24円で肥料化されています。

本社工場生ごみ今後の課題



配合飼料50%



飼料用米40%



乾燥したキャベツ10%

1Kg=5円~10円
(有償)

いしる粕1%

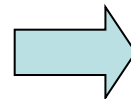


石川県畜産試験所様
豚の配合飼料化

動植物性残渣に対する当社の取組み

課題

本社工場
生ごみ



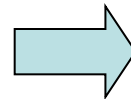
堆肥化



豚の餌

課題

セントラル
キッチン
生ごみ

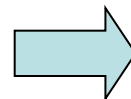


メタン化発酵プラント

食品工場（産業廃棄物）

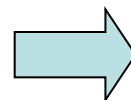
準備

生ごみ
脱水



焼却

廃油



配合飼料（鶏）

営業店舗

生ごみ（事業系一般廃棄物） 廃油（産業廃棄物）